

b 地域の特性を生かした学習に関する見学・体験学習プログラム

(猪苗代第二発電所)に係る見学・体験プログラム		
作成推進校	福島市立森合小学校	
対象児童・生徒	39名	
事前学習	計画	福島県環境創造センターでの見学や体験学習を通して、再生可能エネルギーに対する理解を深めるとともに、興味をもった再生可能エネルギーについて、そのメリット・デメリットや発電の仕組みを調べ整理しておく。
	期待できる成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太陽光発電に対する知識・理解を広める。 ○ 見学学習に対する意欲を高める。
見学・体験学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> ○ どのような場所に発電施設があるか。 ○ 再生可能エネルギーをどのように利用しているのか。 ○ 発電の仕組みはどうなっているのか。 ○ 発電のために、どのような工夫をしているか。 ○ 自分が調べた再生可能エネルギーのメリット・デメリットについて確認する。 <p>上記のことを意識して見学をしたり、説明を聞いたりする。</p>
	期待できる成果	発電施設がなぜその場所に設置されたのかを、知識としてだけでなく実感を伴って理解することができる。そのことにより、自分が調べている再生可能エネルギーに対する理解が深まり、2040年の電源構成を考える際に大いに役立つと考えられる。
事後学習	計画	<p>しおりにメモをとった内容や体験したこと・感想を整理し、自分が興味関心を持って調べた再生可能エネルギーについての理解を深める。</p> <p>また、3つの発電所（太陽光発電所・水力発電所・風力発電所）を見学してきて分かったことを全体で交流することにより、自分が見学することができなかった再生可能エネルギーによる発電のメリットやデメリット、仕組み等についての情報を共有し理解を深める。</p>
	期待できる成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ その地域にあった再生可能エネルギーを活用して発電していることに気付くことができる。 ○ 再生可能エネルギーの可能性だけでなく、その限界にも気付き、安定した電源供給の重要性を知ることができる。 ○ 再生可能エネルギーの重要性に改めて気付くとともに、環境問題に対する危機意識の高まりが期待できる。

第2回見学学習

福島の 再生可能エネルギーを考えよう



平成30年9月28日(金)

福島市立森合小学校

6年 組 番 名前

1 ならい

- 見学学習などを通して、風力発電，水力発電，太陽光発電についての理解を深める。

2 日程

- 8 : 1 5 学校発
- 1 0 : 1 5 見学学習
- 1 3 : 3 0 それぞれの場所を出発
- 1 5 : 1 5 学校着

3 服装

- ・私服

4 持ち物

- ・しおり
- ・探検バック（バインダー）
- ・筆記用具
- ・弁当
- ・水筒
- ・ハンカチ
- ・ティッシュ
- ※酔い止めの薬

【ウルトラワクワクメモ欄】

A series of horizontal dashed lines for writing.